

低炭素アスファルト舗装（中温化技術）用バインダー（改質Ⅱ型系）

レジフィックスW

昭和瀝青工業株式会社

レジフィックス W は、アスファルト混合物の混合・締固め温度を 30℃程度低減できる機能を有する改質Ⅱ型相当のプレミックスタイプのバインダーです。レジフィックス W は、アスファルト混合物製造時の燃料消費量を抑制し、二酸化炭素（CO₂）の排出量が削減できるため、地球環境保全に貢献します。また、施工温度域が広いこと、施工性の改善が必要な舗装工事にも適用できます。

特徴

1. アスファルト混合物の製造温度を通常の改質Ⅱ型より 30℃程度低減できます。
2. アスファルトプラントの燃料消費量や二酸化炭素（CO₂）排出量の低減が可能です。
3. 温度低減機能の持続性があるので、施工性の改善ができます。
4. プレミックスタイプのため、プラントミックスタイプの添加材と比べて投入手間が省けます。
5. バインダーおよび混合物の性状は、改質Ⅱ型と同等です。
6. 施工は通常の機械編成で行えます。

適用

1. 環境負荷軽減対策が要求される舗装工事
2. 交通開放時間の短縮が必要な現場の舗装工事
3. 夜間、冬場、その他施工性改善が必要な場合

温度低減効果

通常の改質Ⅱ型（レジフィックス）の所定の温度から 30℃低い温度で締固めても、99.5%以上の締固め度と良好な混合物性状が得られます。（右図-1，2参照）

適用上の留意点

1. 配合設計は通常の改質Ⅱ型に準じます。
2. 再生混合物や特殊な混合物の場合、事前に締固め性を確認してください。
3. 中温化施工温度の目安を以下に示します。
 混合温度：135～150℃
 敷均し温度：130℃以上
 初転圧温度：120℃以上
 交通開放温度：50℃以下

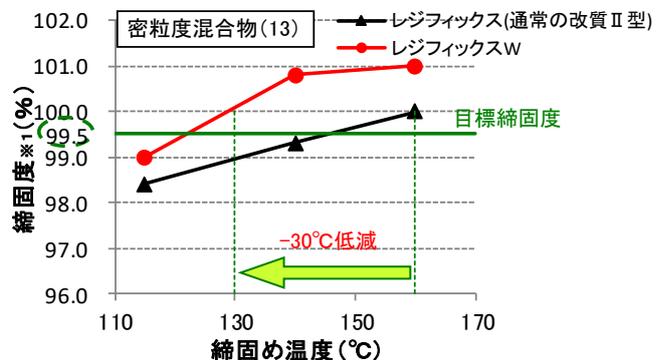


図-1 マーシャル締固め温度と締固め度の関係 (例)

〔 締固め度：レジフィックスの所定の締固め温度（160℃）時の
密度に対する割合 〕

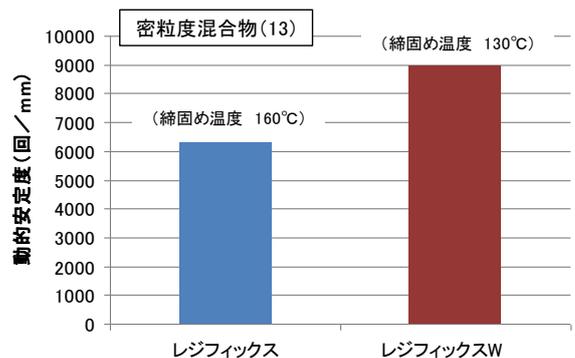


図-2 動的安定度の比較 (例)